【論点】

ルーマニア、アイルランドと比較してわかる

イングランドの初等教育の性質・目的はどのようなものだろうか？

◆本章には、３カ国（イングランド、ルーマニア、アイルランド）の初等教育における

　　○ナショナル・カリキュラムの位置付け

　　○公的なテスト

　　○学校に通い始める年齢 といった事例等が紹介されていた。

◆また、カリキュラム内容、教授方法、評価方法などは、**初等教育の性質と目的に対する国（政府）の視点**によって強く影響を受けていることもわかった。（p.45）

**【3ヵ国についての記述例】**

・The Romanian education system,【…】that in England. (p.38, l.25-26)

ルーマニアの初等教育は、義務教育であるにもかかわらず、イングランドの初等教育に比べて、型にはまっておらず、政府による制限も少ない。

⇒政府の制限が・・・イングランド：多い⇔ルーマニア：少ない

・The effect of poverty【…】more widely felt. (p.38, l.39-40)

貧困の影響は、イングランドにおいても経験されているが、ルーマニアでは貧困のスケールがかなり大きくなっており、影響はより広く感じられる。

⇒貧困の影響が・・・イングランド＜ルーマニア

・Teachers were, for the first time【…】choice of text book. (p.39, l.25-27)

・Just think【…】in many parts of Romania. (p.39, l.30-32)

1989年以来はじめて、[ルーマニアの]教師たちは彼ら自身の創造性を用い、いくつかの教科書のなかから選ぶことを許された。

イングランドで教師が利用できる、毎年出版されている教科書の数を考えてみなさい。これは現在ルーマニアの多くの地域で始められている。

⇒教科書が多種類・・・イングランド：以前から⇔ルーマニア：最近始められている

・unlike in England,【…】by the government. (p.39, l.40-41)

〔ルーマニアでは〕イングランドと異なり、これらの選択科目は政府よりもむしろ学校で選ばれる。

⇒選択科目・・・イングランド：政府で選ばれる⇔ルーマニア：学校で選ばれる

・Education in state primary schools【…】in England and Romania. (p.41, l.12)

アイルランドの国立初等学校における教育は、イングランドとルーマニア同様無償である。

⇒初等教育は３ヵ国とも・・・無償

・As in England, 【…】an education. (p.41, l.16-18)

〔アイルランドは〕イングランドと同様、子どもを学校に出席させたり、親に子どもを学校に通わせたりする法的な義務はないが、子どもに確実に教育を受けさせる法的義務がある。

⇒アイルランド、イングランドどちらも・・・学校：法的義務でない／教育：法的義務

・Although【…】in Ireland: (p.42, l.12-17)

アイルランド共和国のカリキュラムはイングランドの内容と似ているが、評価への取り組みかたが異なる。アイルランドは、Assessment for Learning(AFL)とAssessment of Learning(AOL)に主に焦点を当てる。教師は、生徒の学習と発達を認識し、保護者への報告書を作るために、定期的に子どもの成長を記録する。これは規格化された試験よりも柔軟性のある評価の形態である。しかし、アイルランドには法令により規格化された試験が存在する。

⇒評価方法・・・アイルランド：AFLとAOL（イングランドとは異なる）

・In Ireland, like Romania, 【…】until the age of six.(p.44, l.19)

アイルランドではルーマニアと同様に、子どもたちは6歳になるまでは学校に通うことを義務づけられていない。

⇒アイルランド、ルーマニアどちらも・・・6歳までは非義務教育

３カ国の類似点や相違点を比較し、

イングランドの初等教育の性質・目的について話し合おう！

ex.

初等教育の目的：子供たちを知的に成長させるor社会的・情緒的に発達させる

初等教育の性質：子供たち中心or教師中心

 　政府の介入がどのような形で反映されているか。　　　　　　　　などなど！

**★一概にはその国の性質・目的を述べることはできないかもしれないが、比較をする中で言えることはないだろうか？**

**★３ヵ国の初等教育には、どのような国（政府）の意図があると推測できるだろうか？**

※※参考資料※※

・PISA2012調査結果[[1]](#footnote-1)

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | イギリス | アイルランド | ルーマニア |
| 数学的リテラシー | 26位／494点 | 20位／501点 | 45位／445点 |
| 読解力 | 23位／499点 | 7位／523点 | 50位／438点 |
| 科学的リテラシー | 21位／514点 | 15位／522点 | 49位／439点 |

・各国 GDP [[2]](#footnote-2)

国内総生産（GDP）

|  |  |
| --- | --- |
| イギリス | ＄2.5214兆 |
| アイルランド | ＄217.8158億 |
| ルーマニア | ＄189.6382億 |

1. 国立教育政策研究所「OECD生徒の学習到達度調査〜2012年調査国際結果の要約〜」<http://www.nier.go.jp/kokusai/pisa/pdf/pisa2012_result_outline.pdf>（2014年11月10日取得） [↑](#footnote-ref-1)
2. world bank「GDP (current US$)」http://data.worldbank.org/indicator/NY.GDP.MKTP.CD(2014年11月10日取得)
 [↑](#footnote-ref-2)